

目次

いよココロザシ大学紹介	02
今年のクリスマスはみかんツリー	03
ミニ四駆～作ろう！走ろう！競わせよう！～	04
ミニ四駆大街道～大街道アーケード化&ミニ四駆30周年記念～	05
おもてなし学vol.01～うつわと料理のおいしい関係～	06
やさしいおにぎりのはなし	07
日本酒とフレンチで学ぶマリアージュ～そろそろ、日本酒はじめませんか？～	08
プラモCafé～模型×女子～	09
スタート！ジョグラフィ！vol.02～はじめての靴底のはなし～	10
スタート！ジョグラフィ！vol.01～フルマラソンも夢じゃない～	11
宮大工の技がつくる眞鍋さんちで家づくり体験	12
ミニシアターの楽しみ方vol.01 ～フィルム映写機を知る～	13
映画監督の富永センパイに、質問100本ノック！	14
今宵なりきりアーティスト	15
おいしい！ヘルシー！美しい！～今日から始めるステキ野菜生活～	16
探検！ピオトープ	17
シビックプライド松山	18
ラーニングBar #1、#2、#3	19
SeeD～本気アイデアプレゼンテーション～	21
BEソーシャル！社員と顧客に愛される5つのシフト	22
A Happy New 年賀状！	23
村上春樹とカティーサークの夜	24
劇的美肌メイク ビフォーアフター！	25
参観日に差をつける！洗顔テクニック	26
ホワイトティラミスと七宝焼の休日	27
本とスパークリングワインのタベ	28
ココロザシラヂオ劇団！あなたもシナリオライター！？編	29
ココロザシラヂオ劇団！声優編	30
森の出口を見つける時間	31
モテる男養成講座～好感度アップ大作戦～	32
日本の神様講座 基礎編～運気もアップする！？～	33
日本の神様講座 基礎編2～神様は日常の中におわします～	34
新春おみくじワーク～これであなともおみくじ通～	35
フォ・ジェンチイ監督と『映画の時間』	36
授業実施日一覧（2011.6～2012.12）	37
メンバー紹介 *メルマガ編集局、授業コーディネーター	38



それは縁です、きっと。人も街も自然も。

「誰でも先生、誰でも生徒、どこでもキャンパス」を掲げ、
個人や企業の知識、技術などを「授業化」し、「学びあい」を創出。
2011年6月の開校以来、1,000名以上の市民が学生登録し、
100種類以上の授業に2,500名以上が参加。

授業を通し、自分らしさ、地域の魅力発見、
街への愛着や誇りなどを実感できる「卒業のない」大学。
ひとりひとりのココロザシからはじまる、いよココロザシ大学。
次はあなたの出番です。



- * 授業は「無料(実費負担の場合あり)」と「有料」の2種類があります。
- * 教室は授業内容に合わせ、公園、カフェ、公共施設、山、川などで行います。
- * 定期的に「食飲(職員)会議」を行っています。見学は大歓迎です！

今年のX'masはみかんツリー！

授業日：2012.12.22

教室：和光会館

先生：八幡浜市みかん課

授業コーディネーター：宮本幹江

参加人数：26名 参加費：500円（ミニツリーの材料費） レポート：梅本葉月

協力：八幡浜市

私は大学の授業で「八幡浜みかん課」の方が講義をしてくださり、そのときにこの授業が開講されることを知りました。みかん課の方のお話は面白かったし、以前からみかんツリーに興味があったので、友達を誘って参加しました。

授業は少人数で、和やかな雰囲気でした。コーディネーターの方から「生物多様性」のお話や、みかん課の方から西宇和みかんについてのお話があったあと、さっそくみかんツリー作りに入りました。みかんのヘタをくりぬき、皮に3～4等分になるように切れ目を入れ、慎重にみかんと皮を取り離します。皮だけを瞬間接着剤で貼り合わせて元の形に戻し、タッパーに詰めてシリカゲルをたっぷり入れるところまでが、授業でした。シリカゲルに入れたまま1～2日置いたら取り出し、LEDを入れて飾ると、みかんツリーの完成です。私も授業から2日後のクリスマスイブにタッパーから取り出し、無事に飾ることができました。

授業ではおいしい西宇和みかんを10個も食べられて幸せでした。このみかんは2Sサイズで、市場には出回らず、加工したり自分たちで消費したりするそうです。また、手ぶらで行ってもみかんツリーが作れるように、材料や道具がすべて用意されていました。みかんのオーナメントだけ作るのだと思っていましたが、ツリーの木やLEDライト、電池まで用意されていたので、自分で何も買い足さなくても、立派なみかんツリーができあがりしました！参加してよかったなと思います。また興味がある授業があったら、ぜひ参加させてください。



授業コーディネーターから

丸いみかんがポカポカと点滅するみかんツリー。これを自宅用にミニツリー仕立てで作れたらという思いが、「八幡浜市みかん課」さんの協力で実現しました。

ミニ四駆30周年！作ろう走ろう競わそう！

授業日：2012.8.5

教室：富士教材

先生：田村洋平（富士教材三代目候補）

授業コーディネーター：いよココロザシ大学

参加人数：20名 参加費：500円/人+実費（1,000円程度） レポート：秋山裕佑

共催：富士教材 平成24年度松山市市民活動助成事業

今回、授業内容がミニ四駆であると知り、なんとしても参加したいと思い応募しました。というのも、ミニ四駆ブームが起こっていた頃、私は小学生でミニ四駆に夢中になっていた子どもだったからです。授業に参加できることになり、15年間押入れの奥で眠っていたミニ四駆のツールボックスを持って会場へ。

授業では子どもから大人まで、性別や年齢を問わず幅広い人たちがミニ四駆作りに挑戦していました。性別や世代を超えて同じことに取り組めるということが、ミニ四駆の魅力なのかなと感じました。箱を開けてミニ四駆を作り始めると、当時の記憶や思い出が蘇ってきます。最後に作ったのはもう15年も前のことなのに、不思議と体はちゃんと憶えていて、説明書も見ずに組み立てていました。そして、レース開始ギリギリまで、コースにあわせてセッティングを組みました。

結果は、残念ながらコースアウト。しかし、私にとってこの授業で大切だったのは結果ではなく、ミニ四駆を作るという過程でした。ミニ四駆を作っている間、童心に帰って夢中になり、組み立てていると少しずつ当時の記憶や思い出が蘇ってきました。おそらくこの授業がなければ、私がミニ四駆を作る機会はなかったと思います。授業に参加したことで、今ではなかなかできないミニ四駆作りを15年ぶりに実際に体感しながら当時を懐かしみ、楽しむことができました。これは、当時を知らない子どもたちにはできない、大人にしかできない楽しみ方だと思います。本当にありがとうございました。



授業コーディネーターから

何度も打合せを重ね好評を得たコラボ授業の記念的机会でした。経験や技術を問わず、親子、友達同士、恋人同士などで楽しめた授業でした。

ミニ四駆～大街道で駆け抜ける！～

授業日：2012.12.2 教室：てくるん（まちコムスポット）
先生：田村洋平（富士教材三代目候補） 授業コーディネーター：いよココロザシ大学
参加人数：38名 参加費：500円/人+実費（1,000円程度） レポート：村上
共催：まちづくり松山・愛媛CATV 協賛：富士通乾電池/FDK
協力：富士教材・松山建装社 平成24年度松山市市民活動助成事業

今年の夏休みが始まった頃、6歳の長男が「ミニ四駆やりた～い」と言ってきました。僕はミニ四駆を昔楽しんでた「復帰組」では無いのですが、元々機械いじりが好きだったこともあって、一緒に楽しむことに。

色々なオプションパーツがあっていろいろ組み合わせるのがミニ四駆の醍醐味なのですが、どうしてもジャンプで転んでしまいます。情報を集めていくと、転ばないようにするには「物理の法則」があることが判明。長男との取り決めで「車体価格より高い部品は購入しない」という我が家独自のレギュレーションで、ジャンプで転ばない車体づくりを楽しんでいます。そんな中、知ったのが今回の授業。楽しかったのは、レースは勿論のこと、その前の組み立て。

ミニ四駆はただ説明書どおりに作っても速くないです。モーターを変えたら速くなるかもしれませんがコースアウトしちゃいます。ノーマルモータークラスを観戦していて分かったのですが、コースを走り込んでいるマシンは明らかに音が静かで速い。同じモーターなのに速度がぜんぜん違います。

あと、大人と子供が一緒にの趣味を楽しむ場合、どちらかが背伸びしたりすることも多いのですが、ミニ四駆の場合は年齢や性別に関係なく対等な立場で会話できるのがいいなあと思いました。

お金をかけなくても手間をかければ速いマシンは作れます。次回はそんなノウハウをみんなで共有できたらなと思います。



授業コーディネーターから

夏のミニ四駆授業で参加者から出た一言「広い場所で走らしたい！」という思いを本当に実現した授業。一言から多くの賛同者が協力をしてくれた夢のような授業でした。

おもてなし学vol.01～うつわと料理のおいしい関係～

授業日：2012.11.15 教室：道後やや Dining
先生：牛川雄一（道後やや料理長） 授業コーディネーター：杉浦綾
参加人数：25名 参加費：2,000円（飲食代） レポート：伊藤千春
共催：道後やや 平成24年度松山市市民活動助成事業

「おもてなし」されたら嬉しいけど、でも、これからはもっと「おもてなし」したい！そんなキラキラな気持ちを持ち続けていたところ、「おもてなし学」授業を受けられると聞き、即申込み。

まず、イケメン牛川料理長から、サラダ・煮物・メイン料理の順に盛り付け方のレクチャーを受けます。盛り付け方なんて誰も教えてくれなかったし、料理本にも書いてない！大根・玉ねぎ・じゃがいも・ピーマン…見慣れた野菜たちも盛り付け次第でオシャレ感倍増。レクチャー後は、移動して各自好きな器を選び実践。

食材はもちろん調味料まで全て愛媛産、というこだわりを聞き、さらに愛着が湧いてくるお料理たちを目の前にうろうろとする参加者たち。楽しみながらも、目は真剣です。そして、自身で盛り付けたお皿を、ひとつひとつ丁寧にアドバイスしてくださる先生方。

先生の手にかかると、一瞬で魔法をかけられたように芸術的な作品にさえみえる器とお料理。そんなちょっとした工夫や方法だったんだ！

盛り付けたお料理たちは自分が食べるのではなく、くじ引きで当たった人の元へ。それぞれが盛り付けたお料理と選んだお皿を、食べる人が一人一人講評していきます。この日のための特別メニューのお料理たちをあの人が盛り付けてくれたのね♪と嬉しさをかみしめながら、お待ちかねの試食タイム。参加者の方々は明るくて気さくな方ばかりで、こんな楽しく美味しい授業に充実感いっぱい。目にも嬉しくお腹も満たされた道後の夜。この贅沢な気持ちを忘れないうちに、早く私も復習しなくては。



授業コーディネーターから

日本料理の盛り付けを通して季節を尊ぶ日本の文化を改めて実感。お皿の上は十人十色！個性の多様さが面白い、そしてとても美味しい授業でした。

ミニ四駆～大街道で駆け抜ける！～

授業日：2012.12.2 教室：てくるん（まちコムスポット）
先生：田村洋平（富士教材三代目候補） 授業コーディネーター：いよココロザシ大学
参加人数：38名 参加費：500円/人+実費（1,000円程度） レポート：村上
共催：まちづくり松山・愛媛CATV 協賛：富士通乾電池/FDK
協力：富士教材・松山建装社 平成24年度松山市市民活動助成事業

今年の夏休みが始まった頃、6歳の長男が「ミニ四駆やりた～い」と言ってきました。僕はミニ四駆を昔楽しんでた「復帰組」では無いのですが、元々機械いじりが好きだったこともあって、一緒に楽しむことに。

色々なオプションパーツがあっていろいろ組み合わせるのがミニ四駆の醍醐味なのですが、どうしてもジャンプで転んでしまいます。情報を集めていくと、転ばないようにするには「物理の法則」があることが判明。長男との取り決めで「車体価格より高い部品は購入しない」という我が家独自のレギュレーションで、ジャンプで転ばない車体づくりを楽しんでいます。そんな中、知ったのが今回の授業。楽しかったのは、レースは勿論のこと、その前の組み立て。

ミニ四駆はただ説明書どおりに作っても速くないです。モーターを変えたら速くなるかもしれないですがコースアウトしちゃいます。ノーマルモータークラスを観戦していて分かったのですが、コースを走り込んでいるマシンは明らかに音が静かで速い。同じモーターなのに速度がぜんぜん違います。

あと、大人と子供が一緒にの趣味を楽しむ場合、どちらかが背伸びしたりすることも多いのですが、ミニ四駆の場合は年齢や性別に関係なく対等な立場で会話できるのがいいなあと思いました。

お金をかけなくても手間をかければ速いマシンは作れます。次回はそんなノウハウをみんなで共有できたらなと思います。



授業コーディネーターから

夏のミニ四駆授業で参加者から出た一言「広い場所で走らせたい！」という思いを本当に実現した授業。一言から多くの賛同者が協力をしてくれた夢のような授業でした。

おもてなし学vol.01～うつわと料理のおいしい関係～

授業日：2012.11.15 教室：道後やや Dining
先生：牛川雄一（道後やや料理長） 授業コーディネーター：杉浦綾
参加人数：25名 参加費：2,000円（飲食代） レポート：伊藤千春
共催：道後やや 平成24年度松山市市民活動助成事業

「おもてなし」されたら嬉しいけど、でも、これからはもっと「おもてなし」したい！そんなキラキラな気持ちを持ち続けていたところ、「おもてなし学」授業を受けられると聞き、即申込み。

まず、イケメン牛川料理長から、サラダ・煮物・メイン料理の順に盛り付け方のレクチャーを受けます。盛り付け方なんて誰も教えてくれなかったし、料理本にも書いてない！大根・玉ねぎ・じゃがいも・ピーマン…見慣れた野菜たちも盛り付け次第でオシャレ感倍増。レクチャー後は、移動して各自好きな器を選び実践。

食材はもちろん調味料まで全て愛媛産、というこだわりを聞き、さらに愛着が湧いてくるお料理たちを目の前にうろうろとする参加者たち。楽しみながらも、目は真剣です。そして、自身で盛り付けたお皿を、ひとつひとつ丁寧にアドバイスしてくださる先生方。

先生の手にかかると、一瞬で魔法をかけられたように芸術的な作品にさえみえる器とお料理。そんなちょっとした工夫や方法だったんだ！

盛り付けたお料理たちは自分が食べるのではなく、くじ引きで当たった人の元へ。それぞれが盛り付けたお料理と選んだお皿を、食べる人が一人一人講評していきます。この日のための特別メニューのお料理たちをあの人が盛り付けてくれたのね♪と嬉しさをかみしめながら、お待ちかねの試食タイム。参加者の方々は明るくて気さくな方ばかりで、こんな楽しく美味しい授業に充実感いっぱい。目にも嬉しくお腹も満たされた道後の夜。この贅沢な気持ちを忘れないうちに、早く私も復習しなくては。



授業コーディネーターから

日本料理の盛り付けを通して季節を尊ぶ日本の文化を改めて実感。お皿の上は十人十色！個性の多様さが面白い、そしてとても美味しい授業でした。

プラモCafé ～模型×女子～

授業日：2012.8.29

教室：富士教材

先生：田村洋平（富士教材三代目候補） 授業コーディネーター：いよココロザシ大学

参加人数：8名 参加費：500円/人+実費（1,000円程度） レポート：miniature bear

共催：富士教材 平成24年度松山市市民活動助成事業

女子とプラモ＝異種格闘技！？

実は私、同い年のいところが男の子であったため、幼い頃から彼が持つ超合金やミニカーに憧れるようになりまして。小学生になると、食玩でミニプラモデル付きの商品に出会ってしまい、プラモデル制作に足を踏み入れるようになったのです。

ただ、これまで私が手掛けたプラモデルは部品を切って組み立てるだけのタイプでした。今回の授業は先生もいらっしゃるということで、初めて接着剤使用のタイプにチャレンジです。

しかし始めてみますと、悪戦苦闘の結果に。私が選んだプラモデルがかなり古いタイプの物らしく、部品がきれいに成形されていないのです。わずか数ミリの部品を切り取り、バリ等をヤスリで磨き整え、それを震える手で接着させていくという、気の遠くなるよ

うな作業が襲いかかってきました。でも自分一人、家で作っていたなら諦めたであろうこの作業も、先生に質問でき1つ1つ疑問点が解消され、納得しながら遅いなりにも進めていくことができました。それに周りにはプラモ同志の皆様がいらっしゃる！

女子は手芸、男子はプラモと誰が決めたのでしょうか。今回参加して思ったのは、男女問わず、日本人は手作りの作業というものが好きなのだなあ、と。結局、私は時間内に仕上げる事が出来なかったため、富士教材さんへ仕事帰りに通って引き続き製作中です。1時間ほど無心にこの作業をすると、気分すっきり、1日のストレスが吹き飛ぶという、思わぬ効用を発見しました！



授業コーディネーターから

これまでプラモデルとは縁のなかった女性が集まり、インテリアとしても楽しめるプラモデル作りに挑戦した授業。なごやかな楽しい時間でした。

スタート! ジョグライフvol.02～はじめての靴底のはなし～

授業日：2012.11.21

教室：ナニワヤ運動具店

先生：岡野進（ナニワヤ運動具店店主） 授業コーディネーター：いよココロザシ大学

参加人数：11名 参加費：無料 レポート：堀内麻希

共催：ナニワヤ運動具店 平成24年度商店街応援隊事業

走るのが好きなわけでも得意なわけでもないのに、思いつきで愛媛マラソンに出てみようというエントリー。思いつきだけあって、何の準備もなし！そんなときに、授業の案内を見つけました。

「初心者向けだし、靴って大事な気がする」

先生は、ナニワヤ運動具店のオーナーでご自身もランナーである岡野進さん。

まずは、ウォーキング用・フットサル用・ダイエット用など、いろいろな種類の靴を見せてもらいました。めったに見られないドライビング用や5本指の靴にはみんな興味津々!! 手にとってみると、重さはもちろん、素材の違いや靴底の凸凹加減・しなやかさの違いがよくわかり、やっぱり大事なんだ～と実感。

そして、本題のランニングシューズ。値段はピンキリ・・・一体何が違うのか？

体重移動をうまくサポートするためにプラスチック製のプレートがついているものは、高機能！当然お値段もそれなりに高くなる。サポートしてくれる部分がゴム製だとお値段は安くなるけど、サポート力も落ちる。最も安いクラスは、次の一步のサポートはほとんど得られそうもない感じ。・・・ということは、走りに自信がない人のほうがこだわって靴を選ぶべきなのかも。でも、一番大切なのは自分の足のサイズに合ったものを選ぶこと！

経験値は異なれど、みなさん熱心！そのため、質問が飛び交っていましたが、丁寧に答えていただき時間が足りない感じでした。他のマラソン関連グッズについても聞きた～い！ 続編に期待！！



授業コーディネーターから

普段なかなか着目しにくい靴底の違いを、ランナーであり運動具店店主の岡野さんから学ぼう！という授業。ランナーならではの話に質問が続出、楽しい時間となりました。

スタート!ジョグライフvol.01~フルマソンも夢じゃない~

授業日：2011.12.11

教室：堀之内（城山公園）

先生：渡部大進（有限会社アイビー代表取締役） 授業コーディネーター：横山史

参加人数：20名 参加費：無料 レポート：あやか

講師は新空港通りにある素敵な眼鏡屋さんのオーナー、渡部先生。本日もかっこいい眼鏡でした。先生はすでにいくつもの県内外のマソンに参加され、手には愛媛マソンの参加の証、オレンジグローブが光っています。そんな先生ですが、学生の頃は持久走が大嫌いだったそうです。

自己紹介の後、先生からジョギングの魅力や練習を楽しく続ける工夫についてアドバイスがあり、実際に走ることに。長距離を走るための足の運びかた、走りかたを実践しながら一周目は1キロ7分のペースで公園内をぐるりと回ります。このペースは隣の人と話しながら走れるスピードで、私もまだまだ余裕。2周目も少しペースをあげて6分ペースでしたが、まだまだ大丈夫！むしろ公園内の景色やお城山の紅葉を見る余裕もあって楽しい！爽快地走れました。しかし、チャレンジャーのみで

走った3周目5分ペースでは、先生たちのハイペースさにあっという間に離され、顔面の平静さも保てず、ぜーぜいいながらのゴール。その後、質疑応答があり、全員でさわやかな汗をかいてお開きとなりました。

今回実感したのは、「楽しむこと」の大事さ。SNSで仲間を見つけるのも、一人で走る人を励ましてくれるのでおすすめです。

私はいつも日が暮れてから一人で同じ道を走っていましたが、景色を楽しみながら誰かと一緒に走ることがこんなに楽しいなんて新鮮な驚きでした。

楽しく走り続けるために大切なことを学ぶいい機会となりました。



授業コーディネーターから

ジョギングを始めてよかったこと、楽しさ、続けるコツを話し合い、最後にみんなで城山公園をランニング。気持ちよくやる気がみなぎって、仲良くなれた授業でした。

宮大工の技がつくる真鍋さんちで家づくり体験

授業日：2012.10.6

教室：まなべ邸

先生：高橋英明（棟梁）

授業コーディネーター：横山史

参加人数：25名 参加費：無料 レポート：青砥穂高

転勤族の私にとっては家といえば賃貸アパート。選択肢は立地や間取り程度でその家がどのような過程を経て建設されたのかなどは知る由もありません。真鍋さんの御宅はそんなアパートとはちょっと違う雰囲気を感じ、授業に参加させてもらいました。

はじめに土壁塗りを左官職人さんが見せてくれました。使う材料は竹と麻紐と土のみ。傍で見ていると簡単そうですが、コテに土を乗せるのもままならず、ポロポロと落ちてしまいます。でも土を塗る作業はパイ投げのような爽快感がありました。

その後、宮大工の高橋さんから宮大工道具の説明を頂きました。様々なノミやカンナがあり、そういった道具を使いこなすために修行が必要だそうです。また、のこぎりを研ぐ技術（目立て）については特別な技術を持っており、その技術を持っている人は同年代では日本に10人もいないと仰っており、その顔は自信に満ち溢れていました。

授業終了後の「松山でお仕事して頂けますか」という質問に対し、高橋さんは「メンテナンスが出来ない」という理由で難しいと仰っていました。高橋さんも左官職人さんも自分の腕に自信満々でしたが、それは自身の仕事に責任を持ち、最後まで全うしたいという職人の仕事の本質を見た思いがしました。

目で見て、聞いて、体験してこれまで感じていたのとは全く違った切り口で住まいについて考える良いきっかけになりました。

このような機会を作って下さったコーディネーターの方や講師の方々、真鍋さんや他の参加者の方々、有難うございました。



授業コーディネーターから

建築中のお家を教室に、かんな削りや土壁づくりを初体験。施主さんが大切にすすめている家造りに参加させてもらい、自然や技術、暮らしなどに思いを馳せた時間でした。

ミニシアターの楽しみ方vol.01~フィルム映写機を知る~

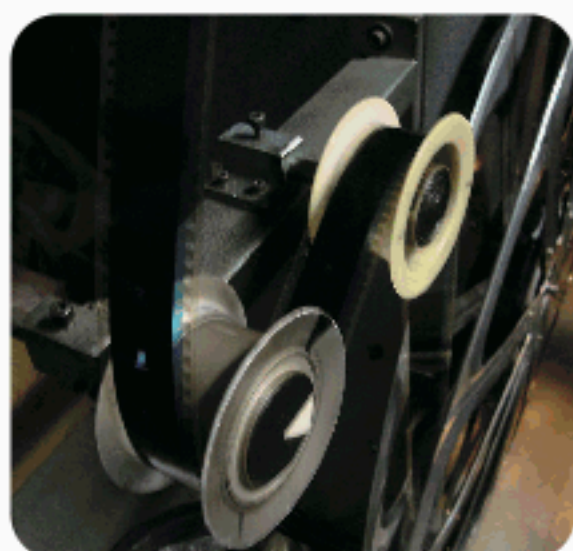
授業日：2012.8.12

教室：シネマルナティック

先生：橋本達也（シネマルナティック支配人） 授業コーディネーター：イリエッティ

参加人数：15名 参加費：実費（映画館入場料） レポート：林

ミニシアターの楽しみ方vol.01と題して行われた今回の授業。所はシネマルナティック。授業内容は映画観賞と、その後の映写室見学の2部構成。映画を観るだけでなく、その裏側を覗ける、となればこれは是非とも参加させていただこうと、すぐに学生登録をした。まずは映画観賞。作品は「ル・アール靴の靴みがき」。やはり、映画館で観る映画は、テレビで見るのとは一味も二味も違う。港町ル・アールの雰囲気、銀幕の向うから匂いたつようだ。あっというまの90分が過ぎ、つづいてロビーにてフィルムの基本を教わる。フィルムが映画館にやって来るときは、分割された状態でやってくるので一本に繋げて上映するのだが、繋げたフィルムは何処へ行く？そう、映写室だ。虹の根本には宝が埋まっているというが、映画の光の根本は、どうなっているのか。期待が高まる。階上の映写室は6畳ほどの広さで映写機が2台。大きな映写機には、歯車やらレンズやらが沢山についている。複雑だな、と思って見ていると、誰かフィルムのセットをしてみませんか、と仰る。これは是非ともやらせていただこう、と志願したが、けっこう難しく、一回見ただけでは、なにがなにやら……。今回は"vol.01"ということで、この先も楽しみである。最後となりましたが、皆様ありがとうございました。



授業コーディネーターから

デジタルシアターが増える中で、100年もの間、楽しませてくれたフィルム映写の良さ、ミニシアターの良さを改めて感じた授業でした。

映画監督の富永センパイに、質問100本ノック！

授業日：2012.12.6

教室：いよココロザシ大学

先生：富永昌敬（映画監督）

授業コーディネーター：イリエッティ

参加人数：15名 参加費：500円（1ドリンク付き） レポート：ヒメブタの会 ヤマウチケンジ

この日、私は通常通りの平日をこなしていたはずだった、しかし、通常ではなかった。朝からずっと授業のことが気になっていた。いや、この授業がHPに掲載された日から、脳みその3分の1は「富永監督に会える！」だったのだ。ほぼ定刻に授業がスタート。富永監督の横には現在、松山で取材中の真利子哲也監督も。「質問100本ノック！」と銘打たれたこの授業、止まらなかった。始まってみるとノックを受けるはずの富永監督から10,000本ノックのような勢いのトークだった。それは受け取りやすく、深いノック。東京で映画制作に取り組んでいる、お二人だからこそその映画業界の生の声だった。授業は進み、愛媛で映画を作ることについて。脚本に「とある都市」と書いた場合、ほとんどの映画が東京で作られる現在、「都市」は松山を指していたとしても、様々な事情から東京に近い地方都市で撮影されることが多いという。それを受け入れるのか、受け入れないのか。愛媛（地方）出身で、東京（中央）で映画を撮る富永監督。東京（中央）出身で、松山（地方）で映画を撮ろうとしている真利子監督。もっと言うなら、当日、音響のサポートで来ていた愛媛（地方）出身で愛媛（地方）産の映画を撮るヒメブタの会、森監督。それぞれの映画制作に対する思いが聞け、日本の映画界の新しい道筋が見えた素敵な授業だった。偉大な先輩方の話を生で聞け、さらにファンになった。誠に失礼ながら、追いつきたい、できれば追い越したい。とってしまった僕は、飛鳥芳一やヒバリのように新しい男に生まれ変わったのだ。と思っている。



授業コーディネーターから

富永センパイとの質問ノックは、時に厳しく、鋭く、優しく、柔らかく、映画がますます好きになる授業でした。

今宵なりきりアーティスト

授業日：2012.11.7

教室：ギャラリーリブ・アート

先生：木下恵介 / 木村繁之

授業コーディネーター：杉浦綾

参加人数：14名 参加費：無料

レポート：榎原幸子

共催：ギャラリー リブ・アート

今回の授業は、なんと美術展開催前夜の本物のギャラリーが会場。スペシャルなのは、作品群の生みの親である木下恵介氏と木村繁之氏をお迎えしての授業ということ！

授業は、あろうことかある絵にタイトルを付けることから始まりました！

意外な始まりに、好奇心のアンテナがピピッ。

その後は、たくさんある作品の中から1点選び出し、あたかも自分の作品のようにストーリーを語ります。それにはちゃんと”なりきりグッズ”が用意されていました♪赤いベレー帽にまんまるのメガネをかけ、パレットと筆を持てば、それぞれの完璧なりきりスタイル♪一人づつ、自由に勝手に作品を表現します。

発表後、作家のお二人から、どんな思いで創作活動に取り組まれているかお話を伺いましたが、それほど気張ったものではないようです。作品に対するうんちくはさほど無く、

見る側の自由な感性にゆだねているなど。アートとは、決して難しいことはないんですね。見る側がどこを見てどうやって伸びやかに楽しむか、それがとても大切なことなんだろうと改めて思いました。

また作品に触れさせてくれました。手の感触から伝わる感覚も、大切な観賞となります。見る側と作品の一体感も、ここから生まれるのかも知れません。

それにしても、作家のお二人を前にした皆さんのなりきりぶりは、素晴らしかったです。

きっと誰のココロにも宿っている”なりきり”が、ひょっこり顔を出したのでしょうかね！

みんなの自由なココロを引っ張りだす素敵な授業でした。



授業コーディネーターから

版画と陶立体の芸術家お二人の作品展前夜！が教室。参加学生の「なりきりアーティスト」っぷりがあまりに個性的で笑いと感動に包まれた授業になりました。



おいしい!ヘルシー!美しい!~今日から始めるステキ野菜生活~

授業日：2012.10.6

教室：エミフル MASAKI グリーンコート

先生：青井悦美 (株式会社エ・クルール代表取締役) 授業コーディネーター：内藤正人

参加人数：10名 参加費：無料 レポート：奥本圭子

エミフルグリーンコートで開催のこの授業は、当日飛び入り参加も OK という参加しやすい授業でした。また、「野菜」なので、参加学生は女性ばかりかと思いきや、男性もお二人ご参加されていて、意識の高さが窺えました。

授業は、まず、参加者それぞれの前にある、黒のビニール袋の中に入っている野菜を当てるところからスタート。

にんじん、さつまいも、じゃがいも、ほうれんそう、ブロッコリー、さといもなどが入っていましたが、手触りだけでは、意外と分かりにくいものもあったようです。

視覚から得ている情報の大きさを改めて感じました。

野菜の匂いを考えたり、グループに分かれて質問に対する答えの野菜を当てるゲームもあり、学生同士、コミュニケーションを取りながら楽しく時間を過ごすことが出来ました。

最後は、学生それぞれが匂いの野菜を使った「今夜のメニュー」を考え、みんなでそのメニュー名を当てたのですが、みなさん美味しそうでお腹の空くようなメニューを考えられていて、参考になりました。

もちろん、男性おふたりも素晴らしいメニューを考えられていました。野菜はヘルシーでカラフル、そして匂いがある食べ物です。

匂いの時季は栄養も豊富ですし、お安く手に入れることも出来ます。改めて野菜のことを教えていただくことが出来、とても有意義で楽しい時間でした。

これからも、おいしい、ヘルシー、美しい野菜たちを積極的に食卓に取り入れて行きたいと思います。

ありがとうございました。



授業コーディネーターから

地元野菜の魅力や栄養・美容効果などをお話しいただいた授業でした。予想外に男性にも参加いただけて、皆さんの野菜への関心の高さが伺えました。



探検！ビオトープ

授業日：2012.10.6

教室：エミフルMASAKI グリーンコート

先生：平井屯（松前町まちづくり塾塾生） 授業コーディネーター：二宮那弥

参加人数：25名 参加費：無料 レポート：ちーちゃん

生い茂る草木や川や池といった水辺が広く点在する自然豊かな田舎で生まれ育った私が、すっかり忘れていた原風景を鮮明に呼び起こされたのが、このビオトープ体験でした。私の田舎では頻りに観察でき、身近であったはずのメダカやカエルなどの生き物たちが、今では絶滅の危機にひんしているということを知り、とても衝撃を受けるとともに、一刻も早く何らかの保全措置を講じる必要があると感じました。

確かに、松山近郊では水辺の生き物たちを見かけなくなっており、これは土地開発等により人々の暮らしをより豊かにする一方、その代償として貴重な自然が失われているかもしれないと危機感を覚えた次第です。

自然を人工的に再生しようとするビオトープそのものが、自然環境保全の有効な対策であることが言うまでもないですが、それ以上にこの体験を通して、広く県民全体の環境保全に対する意識が高まる効果が期待され、環境保全上、極めて有効な取り組みであると感じました。

この自然保護の取組が、松前町を越え、県全体、国全体へと拡大されますよう、松前の地から、かけがえのない豊かな自然の有り難みを継続して発信いただきたいと強く願っています。



授業コーディネーターから

子どもから大人まで全員が夢中になって生きものを観察する姿が印象的でした。自然と触れ合う機会が少なくなっている今、その大切さを感じることができました。

シビックプライドin松山

授業日：2011.11.5/26/27 教室：愛媛銀行大街道ビル2階ホール/坂の上の雲ミュージアム/生活文化センター

先生：シビックプライド研究会（紫牟田伸子、伊藤香織、田井中慎、韓亜由美）

参加人数：46名 参加費：無料 レポート：相原学 授業コーディネーター：いよココロザシ大学

共催：松山市市民参画まちづくり課 協力：愛媛銀行

『松山を「自分達ごと化」する3日間の試み。』

シビックプライドとは、その街に住んだり、働いたり、遊びに来たりする人達が、街に対して持つ誇りや愛着。とのお話があり、アムステルダム「I'amsterdam」や新潟の「上古町商店街の取組」などの国内外の事例を解説して下さいました。そして、紫牟田さんから参加者が互いに「相手が大切にしている松山」をインタビューする授業となりました。2日目の先生は、紫牟田さん、韓さん、田井中さんです。インタビュー記事を元に、各記事の題名と内容を発表し、似ている内容をカテゴリーに分け、最後は田井中さんがまとめた特集タイトル、記事タイトルなどを見ながら冊子の完成イメージを共有しました。

3日目は冊子構成の確認後、冊子のタイトルを全員で考えました。投票の結果、「I'matsuyamazine」に決定！次に5つの特集タイトルの掲載順を話し合いました。

まとめとして田井中さんが街を「他人ごと」として捉えるのではなく、都市を「自分ごと化」すること、さらに「自分達ごと化」することがシビックプライドであると締め括られ、3日間の怒濤の授業が終了しました。

今回の授業は学生自身が記者、編集者としてインタビューという手法を使い松山を取材執筆し、配布計画まで考え、実践する内容でした。

また、3日間、異なる教室（愛媛銀行大街道ビル→坂の上の雲ミュージアム→愛媛県生活文化センター）での授業は松山を感じながら、松山を編集する今回の授業そのものでした。あなたのI'matsuyamaが松山をさらにより良い松山へと変えます！



授業コーディネーターから

シビックプライドとは、街への誇りや愛着を抱くこと。地域の魅力を伝えることができること。「松山人」へインタビューし、記事を書き、冊子にまとめ、配布計画まで立てた授業。

ラーニングBar

平成23年度松山市市民活動助成金事業

授業コーディネーター：いよココロザシ大学 教室：セ・トリアン（愛媛大学生協同組合）
共催：愛媛大学社会連携推進機構地域創成研究センター

#1 「ソーシャルシフト～共感のつながり～」

授業日：2012.1.20 先生：齊藤徹（ループス・コミュニケーションズ代表取締役社長）

参加人数：50名 参加費：4,000円（会食費） レポート：古川慎哉

協力：愛媛大学リーダーズ・スクール、栄光酒造 後援：えひめ若年人材育成推進機構



ソーシャルネットワークに関する講義でしたが、普段からTwitterやfacebookなどを頻繁に使っており、その利便性や楽しさを感じていました。なぜ便利で楽しいのか？さらに深く知りたいと思い参加しました。

なんとなく感じていた事を先生の齊藤徹さんは、多くの事例やデータを活用して説明いただき、それまでの疑問がスッキリ！しました。

都合の悪い情報の隠蔽や過剰な上塗りの情報時代から、正直にコツコツした仕事に正当に評価され、誠実で真摯な共感の社会が大切にされる時代をソーシャルメディアがもたらすだろうということが最も印象的な事でした。

今回は愛媛大学内のレストラン「セ・トリアン」での開催で、愛媛県の食材を中心に楽しむことができました。栄光酒造さんの日本酒、焼酎、果実酒を楽しめるコーナーもあり、盛りだくさんの企画で、食事やお酒だけでも十分に4,000円の会食費がとれたと思います。最新のソーシャルメディアの知識で頭が、愛媛県産の食材でお腹も大満足。さまざまな職種の方がいられていましたが、一人でも気軽に楽しめる雰囲気ですので、気軽に今後も申し込みたいと思っています。

#2 「深イイ大人の学びとは？」

授業日：2012.3.2 先生：佐藤浩章（愛媛大学教育・学生支援機構教育企画室副室長）

参加人数：39名 参加費：4,000円（会食費） レポート：大西秀嗣

協力：愛媛大学リーダーズ・スクール、栄光酒造 後援：えひめ若年人材育成推進機構



「深イイ大人の学びとは？」という、一風変わったテーマの一風変わったバーにおじゃまさせていただきました。

創作おつまみに加えて栄光酒造様の珍しく美味しいお酒が振舞われる中、参加者の皆が過去を振り返って気づきの体験を共有し「深い学びとは」ということを学んでいく…なかなか興味深い教育の場を見させていただきました。お酒が入ることで、ちょっとと恥ずかしい過去の思い出などもどんどん披露され、それを土台にまた話が出てきて盛り上がる…。格好を付けがちな大人には、お酒が入る学びの場というものもいいものかもしれません。

人は学ぼうと思えば、どこからでも学べるものです。ただ、受動的な姿勢ではなかなか多くは学べません。積極的に深く学び、広く通じる教養を身につける。そういう大人を増やすきっかけの場であったと思います。

#3 「逆境でもつらぬく」

授業日：2012.8.3 先生：池内計司（池内タオル株式会社 代表取締役社長）

参加人数：49名 参加費：5,000円（会食費） レポート：M

協力：愛媛大学リーダーズ・スクール 後援：えひめ若年人材育成推進機構



「風で織るタオル」で全国展開中の池内タオルの池内計司社長の経験された貴重なお話をお聞きし、テーブルを共にした方々と食事やお酒を楽しみながら和やかに語り合い、「気づき」を得る。とても上質な大人の勉強会でした。各グループにわかれたテーブルには、ウエルカムドリンクか

ら始まり、学生たちが考えた”情熱と涼しさ”がテーマの料理が登場しました。どれもとてもおいしかったです。

池内さんには自社の製品への自信と愛着があります。そして「”風で織るタオル”には人格がある」とまで言わしめています。「商品に対してファンがいること」これはとても大切なことだと改めて感じました。そして同時に自身の仕事への取り組み方も考えさせられました。

今回お話を聞いただけでも私にとっては大きな収穫でしたが、さらに参加者のみなさんと語り、共感し合うことで、充実感や満足感を高めることができました。参加者の中に、社会人だけでなく現役の学生さんもいるという新鮮なシチュエーションがあったから余計に

授業コーディネーターから：「対話が肴の良質大人時間」がテーマのラーニングBar。美味しい食事

を囲みながら語り合うひとは、頭もお腹も気持ちも満たしてくれました！次回をお楽しみに！

SeeD【本気アイデアプレゼンテーション】

授業日：2012.9.12

教室：シアターねこ

先生：愛媛を豊かにしたい本気の市民

授業コーディネーター：いよココロザシ大学

参加人数：38名 参加費：社会人2,000円(共感券3枚+ドリンク付) 学生1,000円(共感券1枚+ドリンク付)

平成24年度愛媛県NPO等活動基盤強化支援事業 レポート：浜田規史

今回初開催となった本気アイデアプレゼンテーション「SeeD」。愛媛を豊かにするアイデアを共有し、応援する新しい場所として市内外から注目を浴びました。

記念すべき第1回SeeDのプレゼンターは3人。孕石修也さん、ココ大インターン生さん、シアターねこさんです。

限られた時間でしたが、いずれのプレゼンもアイデアの内容が分かりやすく、実現に向けた熱意が伝わってきました。また今回は、知識と経験を有する強力なアドバイザーの方もひとつのプレゼンに対して、どうすればもっと良くなるか、どうしてこのようなアイデアが思いついたのか等の確かなアドバイスをいただきました。その後、交流会を経て、参加者が応援したい先に500円1口の共感券を投票。意志あるお金をプレゼンターに託しました。

本授業を受け、私は、社会を豊かにするアイデア(事業)に対して、市民が自分の意思で応援することはとても重要なことだと感じました。

豊かな市民社会をつくる上で、市民一人一人の社会参画が必要で、実際の参加(労力)だけでなく、お金や物、情報の提供などを通じた応援が当たり前になる環境や仕組みづくりが求められていると思います。選ぶ側も目を養い、受ける側もしっかりとそれを受け取り、責任を果たす。そういう意味で、「SeeD」のこれからの仕組みに期待しています。



授業コーディネーターから

応援したい!という気持ちを、お金だけでなく、人脈、モノ、場所という形で表せたのは大きな前進と思いました。引き続き、このような機会を発展させていきます。

BEソーシャル!~社員と顧客に愛される5つのシフト~

授業日：2012.12.5

教室：リジェール松山

先生：斉藤徹(ループス・コミュニケーションズ代表取締役社長) 授業コーディネーター：いよココロザシ大学

参加人数：45名 参加費：3,000円/人 レポート：岡本健太郎/安永依里子

協力：四国ソーシャルシフトの会

斉藤氏は静かに語る。Facebook、TwitterなどSNSの浸透により、顧客の満足度や失望感は急速に広がっていき、企業は透明性が求められるようになった。自社利益を追求し、顧客や社員を軽視した結果、失速した企業がある。その一方、社会にどう貢献するかという使命や価値観を共有し、オープンでフラットな組織の中、社員が創造性を持って自律的に行動し、顧客の満足を達成し、永続的に成長する企業がある。長寿の遺伝子を持つ日本企業には「売り手よし、買い手よし、世間よし」の「三方よし」の考え方が根付いているという。この心は現在のソーシャルシフトにおける「社員」「顧客」「パートナー」の三基軸と美しく整合する。斉藤氏の授業を受けて、利益追求型の企業のあり方に釈然としなかった何かが明確になった。これからの企業は「人との絆」や「個人の仕事の満足」がより重視されると感じた。明日からの仕事のやりがいにつながる素晴らしい授業だった。(岡本健太郎)

BEソーシャルは、ココロザシ大学の授業の中ではちょっと変わっています。この授業は「ソーシャルメディア」という最近話題のジャンルを東京から講師をお招きして授業をしてもらおう、というもの。そこから感じる今の愛媛・日本・世界。この授業は、同じキーワードに興味を持つ人たちが集まり、共感し、つながって愛媛と世界の新しい時代について考えるものだと、私は感じています。(安永依里子)



授業コーディネーターから

「ラーニング Bar (2012.1)」では、これからの社会、企業のあり方を紹介いただき、日本的経営の良さを具体的に紹介いただきました。コラボ授業開発に役立てます。

世界にひとつ! Happy New 年賀状

授業日：2012.11.22

教室：いよココロザシ大学

先生：大川理恵（創造アトリエあぶりこっと代表） 授業コーディネーター：hide

参加人数：6名 参加費：250円（はがき・画用紙代） レポート：岡林

昔から上手くはありませんが、絵を描く事は好きでした。なかなか社会人になって絵を描くことって少なくなりますよねえ。そんな時、同じ職場の方から素敵なお誘いが…。「年賀状を作りにいきませんか？」

え～！私が参加してもいいのー？っと、思いながら早速にエントリーしていました。初めての授業でドキドキしながら教室へ…。

最初に皆さんで自己紹介をして、説明を受け、早速開始！！

皆さん持ち寄りの画材道具を出し合って、机の上はすごくカラフルになりました。

色鉛筆、絵の具、クレヨン、そして一度使ってみたかったパステルなどたくさんありました！皆さん真剣で時にはおしゃべりしながら、来年の干支であるへびをいろんな色で描いていきます。楽しいひと時で、あっという間に時間が過ぎていました。

こんなひと時を味わったのは久しぶりの感覚でした。そして、皆さん素敵で個性的な年賀状ができ、早速皆さんでぐるぐる年賀状を交換！

そこに自分の住所を書き、絵を描いた方に一度お返し。そして、お正月にはその年賀状が届くという二度楽しめることをしました。描いた絵は、スキャンで読み取りデータにさせていただいたので、来年の年賀状はこれでバッチリです☆

絵を書く楽しさを思い出せてもらった授業でした。今回参加しなかったら出会えなかった皆さん、大川先生、ひでさん本当に素敵な授業をありがとうございました！！

また、是非参加したいです！



授業コーディネーターから

ホントにHAPPYな空間ができてしまった！先生・生徒・コーディネーターみんなで褒め合い教室は次元上昇したみたいです。

村上春樹とカティーサークの夜

授業日：2012.6.29

教室：たべもの雑貨 enowa

先生：なし

授業コーディネーター：杉浦綾

参加人数：9名 参加費：5,000円（飲食代） レポート：ZIN

私は本を読むのが好きな人間です。

いわゆる雑読屋で、萬画や旅行ガイドから、ライトノベルや文学、大学教授の論文まで、読んで面白いものなら、なんでも読みます。好きな小説のジャンルと言えば、SF、アクション、サスペンス等、現実世界の非日常を日常とする話。

そんな私が、日常的な人々が織りなす日常を描く、村上春樹を読んだ切っ掛けは、高校生の時、国語担当の教諭に『ノルウェーの森』を薦められたから。拙い頭脳には、やはり難解な日常描写。超能力者も、恒星間宇宙船も、行く先々で殺人事件が起こる名探偵も出てこない。しかし、次々と滑らかな言葉で、まるで優しいジャズを聞きながら、ゆっくりスコッチを舐める様な心地よい文章が、蕩々とつづく。そこで新たな価値観を知りました。

そして、そんな村上春樹の世界をこよなく愛する方々と、作中に出て来る、美味しい料理を味わう機会に参加出来た事は、私の人生に新しい1頁を加えてくれました。

1つの作品に一つの物語ではなく、各作品の装丁や、作者村上春樹氏自身への感想や思いなど、読者の数だけ、物語がある事を改めて実感しました。

各料理は、それぞれの作品でのテキスト付きで、作中の言葉だけで表された、曖昧なレシピから、丁寧に吟味され、完全に奇抜な物ではなく、食べ慣れた味から、懸け離れず、しかし、確実に食した事の無い味ばかりでした。

フィクション世界の物を、リアルに引き寄せ、改めて物語を、文字通り“味わう”という二次創作の一つの形だと、思いました。



授業コーディネーターから

「ハルキスト」を公言するコーディネーター杉浦の念願が叶った夢の授業。様々な視点から村上作品を語り合うことで自分と違う色々な感性を発見する貴重な体験でした。

劇的美肌メイク ビフォーアフター！

授業日：2012.7.14 教室：シアターねこ リハーサル室
先生：柳瀬 朋世 (エアフェアリーインストラクター) 授業コーディネーター：内藤正人
参加人数：8名 参加費：無料 レポート：A

はじめは、アイメイクの指導です。

デパートなどの化粧品売り場では、メーカーが扱ういわゆる売り物でメイクしてくれますが、この授業では普段自分が使っているメイク道具を使用しました。先生からアドバイスがあり、アイブロウの角度・アイライナーの太さを変えるといつもより全体的に優しく穏やかな感じに。ポイントメイクの修正だけでかなり変わりました。

そのあと、本日のメインイベント「エアブラシ」が登場。

ハリウッド女優も日本の大女優も使っているという、シミ・ソバカスをなかったことのようにしてくれる夢の道具です。本体ボタンを軽く押すと、霧状となったファンデーションが出てきます。「本当にきれいになるの？」と半信半疑でしたが、肌に当ててみて驚きました。「なんということでしょう！」2～3秒ほどで、憎きシミが消え失せ、二十歳のお肌。これには生徒一同、感嘆の声。

みんなで褒め合いながら、作業（実際にペンキ屋さん塗装するような感覚です）すること40分。見違えるように若返った生徒6名がいました。

授業前後の写真を比べると、そこには印象の違う自分が。

授業中、何かの書籍に「第一印象は6秒で決まる」と書いてあったことを思い出しました。メイク一つで取引先に好印象をもってもらい、永続的に関係を築くことができるのなら、これを活かさない手はないと感じました。学んだメイク技術を今後活かしていきたいと思います。



授業コーディネーターから

メカに苦手意識を持つ女性にいかにして告知するか、さらに“あとからセールスされるのではないか”という不安を消すことにも気を遣いました。

参観日に差をつける！洗顔テクニック

授業日：2012.10.03 教室：ヴァンサンカン パンセ
先生：石原裕美 (ヴァンサンカンテクニカルディレクター) 授業コーディネーター：イリエッティ
参加人数：6名 参加費：無料 レポート：入河真美

ヴァンサンカン・パンセという潇洒なエステで授業を受けました。

まず、それぞれが感じている肌に関する不安や悩みに関して先生からアドバイスいただき、皆で共有する時間が設けられました。この時点で、スキンケアは特別なお手入れをしたり、高い化粧品を使ったりするよりも、日々の洗顔や保湿を丁寧に正しく続けることで美肌を保つことはできると教えていただきました。

次に実際に洗面台の前に行き、クレンジング・洗顔・保湿の実践。クレンジングの前に、自分の肌をモニターに拡大して見ることができ、目には見えない問題点を知った上で、先生に注意点やコツを解説いただきながらケアをしていただきました。第一段階のクレンジング後、仕上がりが普段とあまりにも違ったので皆それぞれ驚いていました。クレンジングの段階で、メイクだけではなく古い角質等を取り除くことが重要で、各々の肌質に合ったケアの方法をじっくり教えていただきました。

最後に、美容に良いお茶とブラウニーをいただきながら、感想の共有。皆に共通していたのは、先生にケアをしていただいたことで肌がとても良くなった実感があり、学んだことを毎日実践していきたいと強く思ったことでした。教えていただいたことはどれも、普段のケアに少しだけプラスすればよいことで、実行しやすいことばかり。女性同士で肌について勉強することで、モチベーションも上がり、楽しい時間を過ごすことができました。



授業コーディネーターから

「楽しく日焼けしたい！」アウトドアが大好きなエステティシャン、石原裕美さんから肌のお手入れのコツを学んだ授業。大満足の時間となりました。

ホワイトティラミスと七宝焼きの休日

授業日：2012.11.11

教室：cafe erde(カフェ・エルデ)

先生：八塚奈穂子(雑貨店 sonne オーナー) 授業コーディネーター：内藤正人

参加人数：11名 参加費：1,000円(材料代+ケーキセット) レポート：カワサキ

その日の朝は生憎の雨でした。

折りたたみ傘をバッグに準備しましたが、出かける時間になると雨も上がり、雲間から光が。「いい事」の予感を胸に、少しドキドキしながら参加しました。

緊張の自己紹介も終え、いよいよ授業が始まりました。今回作るのは葉っぱのモチーフ。表面をサンドペーパーで削り、釉薬を塗っていきます。塗る、と言っても筆ではなく竹の先を削ったもので乗せていく感じ。なかなかこれが難しく、うまく均一に乗らなかつたりポコポコしたり……。先生にアドバイスを頂きながら、いよいよデザインへ！カラフルな色に、デコレーションできる素材もたくさんあります。

溶けて色が広がる素材や、端だけとけてぷっくりとなる花柄などなど、見ているだけでも楽しくなっちゃいます。

それぞれ思い思いの色を手に取り、集中して仕上げしていきます。皆さん真剣に黙々と作業。そんな中でも、お店の中は緊張感ではなくゆっくりとした優しい空気が流れているように感じました。色つけデザインが仕上がった順に焼きに入ります。

自分たちが作ったものがどんな風になるのか……ワクワクです。焼き上がりを待つ間、もう一つのワクワクがここで登場。

お待ちかねのホワイトティラミスです！

ケーキを堪能している間に、皆さんの作品が続々と焼き上がってきました。

ガラス質のザラザラした釉薬が綺麗なツヤツヤの七宝焼きになっていて感動です。

一日で、七宝焼きと美味しいホワイトティラミスが同時に味わえる素敵な授業でした。



授業コーディネーターから

奥さんが七宝焼き作りを教え、ご主人が自慢のスイーツをふるまうという、ご夫婦のほのぼの授業。

本とスパークリングワインの夕べ

授業日：2012.4.25

教室：いよココロザシ大学

先生：なし

授業コーディネーター：赤松嘉人・横山史

参加人数：9名 参加費：1,000円(スパークリングワインとおつまみ代) レポート：木曾智仁

“本と〇〇”シリーズの第2弾、前回のカクテルに続き、今回は春らしくスパークリングワインを楽しみながら、参加者がそれぞれお薦めの1冊を紹介するという、大人な企画です。メンバーが集まったら、何はともあれ乾杯！

簡単な自己紹介の後は、順番に持ってきた本の紹介ですが、一口に「物語」と言っても、集まった本はさまざま。それぞれお気に入りのシーンやセリフを紹介するうちに、「あ、それ読んでみたい」「分かる～」と共感の声が上がります。

アルコールの力も手伝ってか、話はどんどん盛り上がっていきます。

本の話はもちろんですが、“買う派”か“借りる派”か、図書館あるあるなど大盛り上がり。時にはお腹がよじれる程の爆笑も交えながら、雨の夜は更けてゆきます。

楽しい2時間はあっという間に過ぎて、お開きの時間。恒例の記念撮影をした後は、それぞれが持参したお薦めの本の裏表紙にメッセージを記入して、ココ大図書館へ寄贈します。

今回の企画、“大人の上質時間”という言葉がピッタリの楽しい授業でした！

とても素敵な時間をコーディネートしてくださった赤松さんと、いよココロザシ大学スタッフの皆さんに心から感謝しながら、自称“上質な酔っぱらい”は、雨に滲む夜の街に消えていったのでした。



授業コーディネーターから

スパークリングワインを頂きながら、自分の、みんなの、好きな本について語り合う至福の一時…大人になっても素敵な学びがある事に気づきました。

ココロザシラヂオ劇団！あなたもシナリオライター!?編

授業日：2012.2.25/3.10

教室：the blue marble

先生：田中和彦 南海放送取締役メディア統括室 室長（ラジオ局・テレビ局担当）

参加人数：24名（のべ人数） 参加費：無料 レポート：田村政幸

授業コーディネーター：杉浦綾

今回の授業は、前回出された「5分間の失恋ストーリーをラジオドラマの脚本にしておくこと」という課題により提出のあった作品を、生徒がそれぞれ声優になって読んで、最後に3作品を選ぶというもの。

ラジオドラマのシナリオは、実際に声優が演じるようになると、リズム感の無いセリフは換えられ、無駄なものは削られて、どんどん変化していくそうです。

そんな中で、シナリオライターが腐心するのは「印象に残るセリフ」を書くこと。

ドラマに命を吹き込む一言のセリフを考えるまでには、この短い授業時間では至りませんでした。1つの生徒の作品の発表が終わるたびに、田中先生から具体的なセリフや、そのヒントとなるアドバイスがあり、それによって作品の印象がガラッと変わってしまうのを見て、その大切さを体感することができました。

そして、ラジオドラマのシナリオ制作が上手くなためには、

1. 着想、発想を自由にする。
2. いろいろな作品を聴いて「何が良かったか」などを話し合うこと。
3. 何もしないより、一行でも書いてみる。が大事だということをおっしゃっていただきました。

他の方々のシナリオを見て、実際にセリフを読んでみるという作業もとても新鮮で、授業を忘れ、ついついストーリーに入り込んでしまいそうになる事も…。でも、参加者のセリフの言い回しも良く、田中先生も「書く人は恥ずかしがりが多いので、正直どうなるかとヒヤヒヤしてたけど、意外に良かった。」とおっしゃっていただきました！「声フェチ」の人はお勧めですよ（笑）



授業コーディネーターから

日常では使わない想像力をフル回転させて脚本制作。大人になって書く物語はその人の人生そのもの。みなさんの脚本を読み合わせた時の緊張と感動は忘れられません。

ココロザシラヂオ劇団！声優編

授業日：2012.4.21/4.27/5.11

教室：いよココロザシ大学

先生：榊形浩人（俳優／演出家 まつやまアーツマネジメント代表取締役 劇団 P.S みそ汁定食主宰）

参加人数：59名（のべ人数） 参加費：無料 レポート：高明日香

授業コーディネーター：杉浦綾

今回の先生はまっすんでおなじみ、榊形浩人さん。

まずはラジオドラマについてのお話。声や効果音など、音だけで表現するので、想像力で、海底でも宇宙にでも行けるといふこと。日常においても【受信すること】の大切さを教えていただきました。人が作りだす空気、大切です。

今回の授業は、和光幼稚園跡のココロザシ大学が会場でした。

そのお遊戯室だったであろう部屋に移動してのワークショップ。そして台本へ。

まずはそれぞれが黙読をして内容を把握する。そして、自身が感じたこと・面白いと思った点を共有する。

いろんな人がいて、いろんな考え方・捉え方があるという当たり前のことなのですが、どこかで「ここはさすがに私と一緒に捉え方やろ〜。」と思い込んでいる部分があったことに、気が付きました。

細かい部分までみんなでシェアすることで、物語が立体的に見えてくるのだそうです。

そのあと、1つの作品を実際にやってみるということで机や椅子を並べての実践。

ラジオは声だけの表現ですが、実際に動いてみることで、セリフの間や言い回しがリアルになります。表現に正解はないので、いろんなアプローチをしていいそうです。その中で、感動と発見の数をどう増やすかが大切とのことでした。

ラジオドラマに限らず、表現の多くが日常につながっているのだと改めて発見できた授業でした。



授業コーディネーターから

声優になった学生さん達の奮闘ぶりは今思い出しても涙ぐんでしまうほど。授業の後でも続く学生さんの交流に学ぶことの尊さを実感した思い出深い授業です。

森の出口を見つける時間

授業日：2011.10.15

教室：the blue marble

先生：高橋照国（株式会社大五木材代表取締役） 授業コーディネーター：竹下愛

参加人数：14名 参加費：教材費100円+ワンドリンク代 レポート：黒河由佳

講師の高橋さんは「端材を捨てるのがもったいない！」との思いから、3.5 cm の立方体「森のかげら」を開発。約200種類の木のかげらが販売されているそう。

手の大きさにしっくりくる大きさ、木目が6面から見られるのがまたいいなあ、などと手にした「かげら」（私が手にしたのは桂の木でした）にはまっているうちに、高橋さんのお話はどんどん展開していきます。

日本の木の名前には漢字があり、そのいわれがあり、歴史があり。日本人がそれぞれの木の特性を生かしてどのように使ってきたかがひも解かれていくと思いきや、シェークスピアのハムレットに登場する毒薬の木やキリストの十字架の木、トトロの木や「この木何の木」の正体まで。古来からの木と人との関わりの深さとともに、高橋さんが木に寄せる思いの深さにたっぷりと浸ってしまいました。

お話の後は、木製のコースターのような「円い森」を使った商品のアイデアを学生各自が考える時間。15分ほど頭をひねり、プレゼンテーションとなりました。

「山ガールにお勧めのペットボトルホルダー」「マウスを使うときのアームレスト」「薄く切ってせんすに」「森のハム」など、多彩な企画が発表されました。高橋さんの『森の出口を見つける』とは、木に建築材以外の可能性を見出すこと。身近に温かみのある木の製品が増えていくという、うれしい予感がしました。

そして私たちの暮らしも木や自然と調和するものに、少しずつ近づくようにしていきたいですね。



授業コーディネーターから

人が一人一人違うように、木にも性格やクセがあって1本1本違う。新しい出会いのように木のことを知るおもしろさを感じられる授業になりました！

モテる男養成講座～好感度アップ大作戦～

授業日：2012.1.29

教室：いよココロザシ大学

先生：保住和枝（SARA～彩染～カラーオフィス代表） 授業コーディネーター：内藤正人

参加人数：11名 参加費：無料 レポート：小松大修

この授業に参加しようと思ったのは、「モテたい！」という理由もありますが、「人は見た目が9割！」という言葉や「出会って3秒で印象が決まる！」という言葉があるように、これから社会人になったとき印象というものがとても大切になると思ったからです。

授業は、パーソナルカラー診断の達人ミンミン先生こと保住和枝先生と男性10人という独特な雰囲気の中で行われました。

印象的だったのは、「色は理論！」という言葉。色が理論だなんて今まで思ったことがなかったので、この言葉を聞いて「色」って深いなと思いました。

次に、色でも濃い色や薄い色などその中で自分にはどの色が似合うのかについて説明していただきました。「spring」、「summer」、「autumn」、「winter」と色を4グループに分類できるそうです。このグループは、春っぽい色がこの色、秋っぽい色がこの色ということではなく、分かりやすくするために四季で呼んでいるのだとか。

そして、自分はどのグループが似合うかをミンミン先生に診断していただきました。

慣れてくると楽しくなり「その色いいね。似合っているね。」「その色はイマイチだね。」とミンミン先生だけでなく受講生が互いにアドバイスをし合い楽しい雰囲気。男性10人でどんな授業になるかと思っていましたが、始まってみると終始笑顔が絶えず楽しい授業になりました。ココ大の皆さん、ミンミン先生、受講生の皆さんありがとうございました。



授業コーディネーターから

「見た目の第一印象」を決めるためにファッションの「色合い」を学んでもらおうと思って企画した授業です。

日本の神様講座 基礎編~運氣もアップする!?!~

授業日：2011.11.12 教室：椿会館 2 階応接室 (伊豫豆比古命神社~椿神社~)
先生：83 (やっさん、パワースポットナビゲーター) 授業コーディネーター：hide
参加人数：25 名 参加費：無料 レポート：はっちゃん

真っ青な空に、軽やかな白い雲がたなびく参拝日和。
自己紹介とともに興味のある神様の名前や神社様を話されて、詳しく説明して下さる先生のお話に興味津々! 神様って、引きこもったり、大喧嘩したりするんですって!
お話を聞いていて、もっと神様の事を知りたくて神話にも興味が湧きました。
『神道』とは? カムナガラ: 「神の御霊のままに」 人間=神の分霊 (わけみたま)
清き明き正しき直きまことの心を持ち、神の御心に沿って生きていくための道、罪穢れ (つみけがれ) を祓い清め、清明正直であることを旨とする。
熱中して、気がつけば予定時間をオーバー。いよいよ『伊豫豆比古命神社様参拝』へ。お参りの作法を詳しく教えていただき、可愛い七五三参りの子供たちに混じって、学生全員で順番にお参り……。

鈴の音で、お参りに来たことを神様にお知らせして、お賽銭。軽く会釈、二礼・少し右手を引いて二拍手・手を合わせ戻して・一礼。軽く会釈して、住所・名前・生年月日・感謝の言葉 (今日の御縁お守りお導き感謝申し上げます。)・祈念 (言いきる形で) いつもは、「〇〇よろしくお願いします。」ってお参りしていたのですが、この日は、先生に教えていただいたように、言いきる形で、「世の為に、自分を大きくいかにさせるように、お力添えくださりありがとうございます。」とお伝えしました。
講座に参加できて、ますます神様への興味が深まりました。とても有意義で楽しい時間をありがとうございました。



授業コーディネーターから

初めてコーディネートした授業。先生の 83 はぐいぐいと神様の世界へとみんなを引き込んでいってくれ、神様も降りてきました。

日本の神様講座 基礎編2~神様は日常の中におわします~

授業日：2012.5.12 教室：三津浜地域交流センター
先生：83 (やっさん、パワースポットナビゲーター) 授業コーディネーター：hide
参加人数：25 名 参加費：無料 レポート：加納美紀

神様について、この講座に参加するまではあまり深く考えた事もなく、友人との会話にも出る事もなかったのが、83 先生のお話で新たに神様について考えるいいきっかけになりました。
思えば、我が家には神棚があり日々お水やお供え物をして、毎月 1 日にはお神酒を供えています。今はほとんどを親がしていますが、自分もなんとなく元気がない時にお供え物をして手を合わせたりしています。こうした行いが、少しずついろいろな事に繋がっているのかもしれないですね。
先日、婚活を通じて出会いがありました。83 先生のお話を聞きながら、振り返ってみると、この出会いにはいろいろな繋がり…つまり小さな「縁」が幾つも重なって集まったものではないかと思いました。今までいろんな出会いがありましたが、この出会いはこれまでとは違うもののような気が自分の中でしています。人と人との繋がり「縁」は大切にしなければいけませんね。
83 先生のお話で、「神と共に日常を生きる」というのが強く印象付きました。自分自身を活かし、自分自身と周りの全てを喜ばせる。そして全てのものを尊び敬う事で、自らを神として尊び敬う事にも繋がる、本当にそうだと思い始めてきました。
神様・神道について学ぶ機会を作って下さいました、83 先生にとっても感謝しています。ありがとうございました。また、機会がありましたらその時はよろしくお願いいたします。



授業コーディネーターから

三津の新旧の建物が並ぶ雰囲気は授業そのものを盛り上げてくれました。渡し船に乗って向こう岸の神社へと。気分は不思議な空間小旅行。

新春おみくじワーク~これであなただもおみくじ通~

授業日：2012.1.28

教室：道後温泉椿の湯 2階

先生：83 (やっさん、パワースポットナビゲーター) 授業コーディネーター：hide

参加人数：10名 参加費：無料 レポート：11

神様授業基礎編に続き、講師の83さんとは2回目でした。

83さんがひいたおみくじのお言葉から考え付いたという、おみくじの和歌を絵にしてみるという試みは、子供のころのお絵かきを思い出して懐かしかったり、語り合うことで、受け取り方の違いがあったりと興味深く、楽しかったです。

その後、お互いに作ったおみくじも引きました。私は「吉」を引き当て、内容は『意識を向上させて生活を送れば願い事は叶っていく』とのこと。

オプションの道後温泉の玉の石、湯神社、伊佐爾波神社参詣も参加しました。

83さんに色々質問したり、説明を受けながらの参詣で、ためになりました。

今回、存在自体を初めて知った「湯神社」さんは、すっきりした神社で個人的にまた行きたくなりました。参詣途中で太鼓の音が聞こえてきたのですが、こちらにもお祀りされていた少彦名様にお問い合わせのある私へのメッセージだったのでしょうか。

最後に授業の実践として引いた、伊佐爾波神社のおみくじは「小吉」でしたが、『自分の思うように進みなさい』とのこと。

「今、必要な言葉を下さい」と願いながら左手で引いた私にとって、まさに頂きたかったお言葉!! でも、『他人のために尽くしなさい』って。

授業を受けたあとでひいたおみくじですから余計に身にしみます。ハイ。心がけます。



授業コーディネーターから

「おみくじ」しかも「新春」ということもあり、色々楽しめる仕掛けをしてみました。先生の83と作戦を練りあげ、生徒もコーディネーターも楽しめる授業となりました。

フォ・ジェンチイ監督と『映画の時間』

授業日：2011.10.5

教室：愛媛コミュニケーションビジネス専門学校

先生：フォ・ジェンチイ (映画監督)

授業コーディネーター：いよココロザシ大学

参加人数：40名

参加費：無料

レポート：石川誠二

協力：笹川平和財団・ジャパンフィルムコミッション

『山の郵便配達』は大好きな作品ですので、その監督の話が聞けるなんて夢にも思わなかった授業でした。参加者の自己紹介後にフォ監督の『台北に舞う雪』を鑑賞。

この映画に登場する、街に電車が走る風景が松山に似ているなーと思ったのは僕だけ？ 上映終了後に1階の「にこら」に移動。茶菓子をつまみながらトークがスタート。

フォ監督には日本を舞台にした作品の構想があるそうで、その中でも瀬戸内の風景に興味をもたれたらしく、亀老山から見た夕焼けが印象的だったそう。

トークは私たちの質問に監督たちが答える形式で、観たばかりの『台北に舞う雪』や、愛媛の印象等があがりました。その中で「監督たちが影響を受け(好きな)監督は？」という私の質問が読まれ、日本人監督の黒澤明、山田洋次、深作欣二、小栗康平、今村昌平といった名前が上がりました。特に山田洋次監督には影響を受け、自分に近い作風にシンパシーを感じているようです。

また、監督を目指す人へのアドバイスをとの質問に、フォ監督は「理解力」「美意識」「表現力」が必要と明確にアドバイス。特に「表現力」は才能として大切、技術は勉強すれば身につくとも。

最後は、瀬戸内を舞台に映画を撮るとしたらという質問。

監督は「おへんろ」に興味を示しつつ、中国人と日本人のつながりを描きながら、夢や理想の話を描けたらというお話で締めくくられました。終了後、記念撮影にも快く応じてもらい、作品から受ける印象通りの、温和なフォ監督でした。



授業コーディネーターから

映画監督がファンと自作を鑑賞して、作品について意見を交わす。こんな「ありそうでなかった」授業、増やしていきたいです!

メンバー紹介

メルマガ編集部、授業コーディネーター (五十音順)



赤松嘉人 (あかまつよしひと)
会社員

宇和島市生まれ、洋楽育ち。アートを感じられる事に興味を持つのですが、ライフスタイルは世に言う親父そのものです。



井上千春 (いのうえちはる)
メルマガ編集局長

毎週1本以上配信するメルマガ編集部。授業にはなかなか参加できないけれど、取材で授業のキモを独り占めしている満足感アリ!



内田年泰 (うちだとしやす)
授業コーディネーター (WONDER EHIME)

東京でカメラマンをしていましたが、昨年末に西条に引越してきました。主に東予地区での授業を担当しています。



杉浦綾 (すぎうらあや)
砥部焼作家

雪深い新潟県出身。名古屋〜東京などを転々と、やっと腰を落ち着いた愛媛県。伊予弁、愛媛の郷土料理を勉強中。



田村政幸 (たむらまさゆき)
授業コーディネーター

ココ大学生からココ大ファンになり、気が付けば授業コーディネーターに!



二宮那弥 (にのみやなみ)
授業コーディネーター (WONDER EHIME)

自然が好き。外に出ることが好き。行きたいところはたくさんあります。みなさんと一緒に愛媛の魅力が発見できたらいいな。



宮本幹江 (みやもとみきえ)
授業コーディネーター (WONDER EHIME)

大洲の山の中で生まれ育ち、30年のプランクのあと、再びここで暮らしています。Love and Live Ehime, Shikoku island!



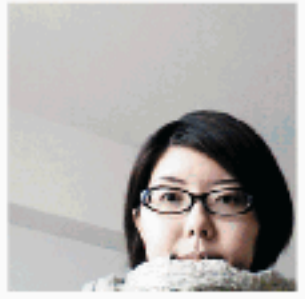
安永 依里子 (やすながえりこ)
授業コーディネーター

10年ぶりに愛媛に帰ってきました! Happyで丁寧な愛媛ライフ模索中。愛媛のHappyを一緒に探しましょう。



伊東まゆみ (いとうまゆみ)
フリーライター (ラックマガジン)

ライターをしています。コードネームはルーキー 62 です。これは再来年の誕生日まで使えます。ミステリアスな女を目指しています。



イリエッティ (いりえってい)
授業コーディネーター

地元演劇の制作、地元映画の制作につづいて、最近ではミニシアター「シネマルナティック」を勝手に応援する部活動を始める。



酒井大輔 (さかいだいすけ)
授業コーディネーター

福井県で生まれ、東京、千葉、福島、神奈川、京都と流れに流れ、やってきました愛媛県。ふるさととはここで決めました。



竹下愛 (たけしたあい)
ひとのつなぎ役

人が好き。地域が好き。どの人にもどの地域にもそこにしかないストーリーや思い入れがたくさんあって、それを聞くのが大好きです。



内藤正人 (ないとうまさとし)
授業コーディネーター (WONDER EHIME)

好奇心旺盛で新しいモノ好き。目に見えないもの、カタチには残らなくてもココロに残るものを大切にしています。



hide (ひで)
スピリチュアルインテュイター

20代のバックパッカー時代、30代の精神世界時代を経て現在に。見えない世界をいかに伝えるかということ日々考えてます。



山田一茂 (やまだかずしげ)
授業コーディネーター (WONDER EHIME)

終のすみかを郷里内子町に決め、45年ぶりに愛媛にUターン。農水省の農業研究所に勤務していました。



横山史 (よこやまふみ)
コーチ

人の話を聞くのが好き。素敵な話に出会ったら、みんなにも聞いて欲しい。→で、授業にできたらしいな。昔ながら好きなアナログ人間。

授業実施日一覧 (2011.6~2012.12) 計129授業

2012.12.24	「クリスマスオレンジ」を大好きなあの人に	2012.9.11	相手の気持ちが分かる恋話(コイバナ)授業
2012.12.24	城山センス・オブ・ワンダーランド	2012.8.29	プラモCafe ~模型×女子~
2012.12.23	五十崎の匠に習う「伝統風づくり」	2012.8.12	ミニシアターの楽しみ方vol.01 ~フィルム映写機を知る~
2012.12.22・23	「チリメンモンスター」を探せ!inkクリスマス	2012.8.5	ミニ四駆30周年!作ろう走ろう競わそう!
2012.12.22	ジビエ・シルブプレ! ~イノシシ編~	2012.8.5	花火大会の三津浜をあるく ~古い町なみときどきアート~
2012.12.22	今年のX'masはみかんツリー!	2012.8.4	iPad&iPhoneで2分間映像クッキング!【西条】
2012.12.19	森からのおくりもの	2012.8.3	ラーニングBar#3「逆境でもつらぬく。」
2012.12.16	森で作る幸せいっぱいのリース	2012.8.2	コーディネーターが教える!ココ大授業のつくり方 #2
2012.12.12	地元食材で作る愛LOVEピザパーティー	2012.8.1	iPad&iPhoneで2分間映像クッキング!【松山】
2012.12.8	「ぬか味噌かおる」女になろう!	2012.7.29	iPad&iPhoneで2分間映像クッキング!【宇和島】
2012.12.6	映画監督の富永センパイに、質問100本ノック!	2012.7.26	コーディネーターが教える!ココ大授業のつくり方 #1
2012.12.5	BEソーシャル 社員と顧客に愛される5つのシフト	2012.7.14	劇的美肌メイク ピフォーアフター!
2012.12.2	古民家カフェで「稲わらリース」を作る	2012.7.8	We love ユアン・マクレガー
2012.12.2	里山の恵み、内子夢わいんヌーボーを味わう	2012.7.7	初めてのファンレイジング! 松山
2012.12.2	ミニ四駆~大街道で駆け抜けろ!~	2012.6.29	村上春樹とカティエ・サークの夜
2012.12.1	初冬の脳川から四国を観る ~Wonder River 脳川 (1) (2) ~	2012.6.26	スピリチュアル・カウンセラー「アイル」の開運メソッド
2012.12.1	松山ぶらり~石手川の橋と中の川歴史探訪~	2012.6.16	開校1周年記念授業『1周年だよ 全員集合』
2012.11.25	鴨かもカモン!	2012.6.1	これで納得!認定NPO法人・寄付税制 大洲
2012.11.22	世界にひとつ! Happy New 年賀状	2012.5.31	これで納得!認定NPO法人・寄付税制 新居浜
2012.11.21	西条自然学校の『夜の学校』	2012.5.31	これで納得!認定NPO法人・寄付税制 松山
2012.11.21	スタート!ジョグライフ!vol.02~はじめての靴底のはなし~	2012.5.26	妄想授業キックオフ
2012.11.18	元No1キャバ嬢から学ぶ超実践恋愛術 ~For men&For women~	2012.5.21・4.27	ココロザシラチオ劇団!声優編 #2・3
2012.11.17	やさしいおにぎりはなし	2012.5.12	日本の神様講座基礎編 #2~神様は日常の中におわします~
2012.11.17	「ガンバレ!」と言わぬコミュニケーション術	2012.4.25	本とスパークリングワインの夕べ
2012.11.15	おもてなし学Vol.01~うつつと料理のおいしい関係~	2012.4.21	ココロザシラチオ劇団!声優編 初回ウエルカム授業
2012.11.11	おとなの川遊び~脳川上流の地鮎を食す~	2012.3.24	押忍!ファンレイザー!~華麗なる資金開拓道場~
2012.11.11	おとなの川遊び~瀬張りアユ漁~	2012.3.20	茶室で春の紅茶レッスン~松山城二之丸史跡庭園・観恒亭~
2012.11.11	ホワイトテラミスと七宝焼きの休日	2012.3.17	共感のファンレイジング~事例から学ぶ志金の活かし方~
2012.11.10	カプトガニのカプちゃん干潟の仲間たち	2012.3.10・2.25	ココロザシラチオ劇団!あなたもシナリオライター!編 #1・2
2012.11.10	森も渓谷もモミジ色! 小田深山渓谷・秋のネイチャーハイキング	2012.3.3	えひめの活性化と高校野球~「野球王国復活」のために~
2012.11.7	今宵なりきりアーティスト	2012.3.2	ラーニングBar#2「深い大人の学びとは?」
2012.11.4	シビックプライド松山#2	2012.2.29	地域コンテンツの未来 ひめキュン映画の方程式
2012.11.3	カプトガニのカプちゃん1	2012.2.19	ラブカラース診断で自分のベストパートナーがわかる授業
2012.11.3	シビックプライド松山#1	2012.1.29	モテる男養成講座~好感度アップ大作戦~
2012.10.31	SeeD【本気アイデアプレゼンテーション】#2	2012.1.28・18	新春おみくじワーク~これであなたもおみくじ通~週末編・週末編
2012.10.28	内子の自然農園散策&「笑心(えごころ)まつり」を楽しむ	2012.1.24	透明樹脂(レジン)でアクセサリ作り ~バレンタインに想いを込めて~
2012.10.21	バラにも心がある~自然界のすべてはつながっている~	2012.1.21	NPO&ソーシャルメディア
2012.10.20	初めてのファンレイジング! 八幡浜	2012.1.20	ラーニングBar「ソーシャルシフト~共感のつながり~」
2012.10.20	ミニシアターの楽しみ方vol.02 ~8ミリフィルムと昭和の暮らし~	2011.12.17	MATSUMAYAMAで知っておきたい英会話~道後・観光案内編
2012.10.19	買い物気分でおしゃれ服コレクション♪	2011.12.11	スタート!ジョグライフ~フルマラソンも夢じゃない~
2012.10.12	日本酒とフレンチで学ぶリアージュ~そろそろ、日本酒はじませんか?~	2011.11.27・26	シビックプライドin松山 #2・3
2012.10.10	心をデトックスする90分 ~嫌な思い出とサヨナラする超簡単な方法~	2011.11.25-10.19	ココ大式!授業の作り方 #1・2
2012.10.6	「チリメンモンスター」を探せ!	2011.11.19	消しゴムはんこで年賀スタンプを作ろう
2012.10.6	宮大工の技がつくる真鍋さんちで家づくり体験	2011.11.12	日本の神様講座基礎編~運氣もアップする!~
2012.10.6	探検!ピオトブ	2011.11.5	シビックプライドin松山 #1
2012.10.6	炭(タン)・炭(タン)・炭(タン)♪	2011.10.23	美味しい世界旅行~メキシコ編~
2012.10.6	ドングリの「勢」くらべ in えひめ	2011.10.15	松山ぶらり~松山城四方固めの地藏尊~
2012.10.6	Made in EHIMEのアロマオイル	2011.10.15	森の出口を見つける時間
2012.10.6	オンリーワンに乾杯 ~内子・山ブドウとワイン~	2011.10.14	本とカクテルの夕べ
2012.10.6	ネイチャーコラージュの贈りもの	2011.10.5	フォ・ジェンチ監督と「映画の時間」
2012.10.6	がんばれ!ヤリタナゴくん! ~松前町の絶滅危惧種~	2011.9.24	閉店後の本屋さん ナイトウォーカー
2012.10.6	生命力 ~金山栄太ライブペインティング~	2011.9.17	本のできるまで
2012.10.6	おいしい!ヘルシー!美しい! ~今日から始めるステキ野菜生活~	2011.9.17	キックオフ!愛媛FCで拓く未来
2012.10.6	あ~おもしろい♪虫の声~秋の虫声の聞き分け方講座~	2011.8.7	ヒトノユメ in 愛媛 #2
2012.10.6	巨大折り紙パフォーマンス&みんなでカエルの泉作り	2011.7.16	男の浴衣道(ゆかたどう)!女の浴衣路(ゆかたみち)!~浴衣で夜市~
2012.10.6	チリメンモンスターを探せ	2011.7.11	非常食を食べたことがありますか?非常食から震災を考えよう!
2012.10.3	参観日に差をつける!洗顔テクニク	2011.7.1	「ヒトノユメin愛媛」準備授業
2012.9.28	アムプロクルーージング~ブログを楽しむ90分~	2011.6.4	【開校授業】美甘子さんが語る!ふるさと大三島の歴史
2012.9.22	小難しいことはチラ見シリーズvol.01「達人と観るコンテンポラリーダンスの世界」	2011.6.4	【開校授業】庶民の「お能」松山藩ゆかりの伝統芸能を体験しよう!
2012.9.22	農村の原風景・日本の棚田百選で稲刈り体験	2011.6.4	【開校授業】集まれ!松山城石垣探検隊 ~松山城石垣の秘密を探る~
2012.9.12	SeeD【本気アイデアプレゼンテーション】#1		

理事長・学長: 泉谷昇 理事: 松本英次・杉浦綾 監事: 萩森一路 事務局: 江戸恵子・山本文

街は教室、人は教科書、愛媛は先生。
社会との架橋になると約束した私達。
世間は狭くても知らないことばかり。
出会うはずのなかった人と出会った。
縁と思うと、明日の出会いも楽しい。
人には物語がある。異なりは価値だ。
今日を学びあい、自分を生きよう 😊

NPO法人いよココロザシ大学

〒790-0806 愛媛県松山市緑町1丁目2-1 和光会館1-A

TEL: 089-931-7537

FAX: 089-906-5806

www.1455634.jp

誰でも先生、誰でも生徒、どこでもキャンパス

いよココロザシ大学



2012 授業レポート



授業レポートはパンフレット用に編集しています。授業レポートの全文は、いよココロザシ大学ウェブサイト (www.1455634.jp) に掲載されています。